

エキスパート管理栄養士養成シリーズ

公衆衛生学（第3版） 解答

1 章 社会と健康

1. 解答（5）

解説

- a. WHO 憲章の前文には「健康とは肉体的、精神的だけでなく社会的に完全に良好な状態である」という定義がある。
- c. アルマ・アタ宣言では「プライマリーヘルスケア」に関する提唱がなされた。
- d. ヘルシンキ宣言には、人におけるバイオメディカル研究に携わる医師への勧告がなされている。

2. 解答（5）

解説

- a と d は二次予防、b は三次予防である。

3. 解答（3）

解説

- a. ウィンスロウは「公衆衛生は、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進を図る科学・技術である」と定義している。
- c. 北里柴三郎は、破傷風菌純粋培養法と破傷風菌抗毒素、ペスト菌を発見した。
- e. 高木兼寛は、脚気の治療法を確立した。

2 章 環境と健康

1. 解答（4）

- a. 変化を与えるのではなく、作用を受けることである。
- b. 環境形成作用とは、環境を変えることである。
- d. 個体群としてのみ考えるのではなく、考える場合もある、が正しい。

2. 解答（3）

- a. 0.01%ではなく、0.05%である。
- b. 約1%ではなく、約10%である。
- f. 閉鎖性循環ではなく、半解放性循環である。

3. 解答（7）

4. 解答（2）

解説

「地球温暖化対策の推進に関する法律」の中で、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等の6種類のガスが温室効果ガスとして定められている。

5. 解答（1）

解説

酸性雨により、湖水の酸が増え土壌の中で有機的に結合していた微量元素などが遊離することが知られている。

6. 解答（3）

解説

排出基準の強化などにより産業排水の水質汚濁への影響はかなり低減されている。BOD、CODを指標とする水質の有機汚濁の原因としては、家庭からの排水が考えられる。日本の下水道普及率は63.5%。ダイオキシン類は廃棄物の不完全燃焼により発生するものであり、排ガスの冷却が不十分である場合には、ダイオキシン類が再合成されと考えられている。

7. 解答（1）

解説

b. 1 mLの検水で形成される集落数が100以下と定められている。

d. 感覚的なものも規定されている。

e. 遊離残留塩素濃度が0.1 mg/L以上保つことが定められている。

8. 解答（5）

解説

a. 尿尿も含まれる。

b. 産業廃棄物とは事業活動によって生じた廃棄物のうち法令で定められた20種類をいう。

c. 特別管理産業廃棄物に指定されているものは、その種類に応じた処理基準が定められている。

e. マニフェスト制度とは、廃棄物の流れを管理し、適正な処理を確保することである。

9. 解答（2）

3章 健康，疾病，行動にかかわる統計資料

1. 解答（3）

2. 解答（3）

3. 解答（2）

4. 解答（3）

5. 解答（3）

6. 解答（4）

7. 解答 (3)
8. 解答 (a) ○, (b) ×, (c) ○
9. 解答 (5)
10. 解答 (4)
11. 解答 (4)
12. 解答 (5)

4 章 生活習慣（ライフスタイル）の現状と対策

1. 解答 e
2. 解答 c
3. 解答 b d e a c
4. 解答 b
5. 解答 b e

解説

- a 肺がんや心疾患のリスクを高めるので誤り.
- c 肺がんの場合は約 10 年で喫煙継続者のリスクの 30~50%になるので誤り.
- d 年齢が若いほうが、たばこ煙中の発がん性物質に対する感受性は高いので誤り.

6. 解答 a c

解説

- a 女性の喫煙率はここ 10 年ほど 10%前後であり、ほぼ一定しているので誤り.
- c 男性では 40 歳代、女性では 30 歳代の喫煙率が最も高く、その後年齢が高くなるにつれ喫煙率は低下するので誤り.

7. 解答 a c

8. 解答 a d

解説

- b 適度の飲酒で HDL コレステロール値は低下するので誤り.
- c 飲酒量と全死亡率は J カーブを描くので誤り.
- e 女性のほうが男性より少ない飲酒量で肝疾患などになるので誤り.

9. 解答 a d

解説

- b 65 歳以上の高齢者では、より少量の飲酒が適切とされているので誤り.
- c アルコール代謝能には個体差がある. ALDH2 *2/*2 型の人では代謝能が低く、*1/*1 型の人では代謝能が高いので誤り.
- e 1 日平均純アルコールで約 20g 程度の飲酒のことである.

10. 解答 c

解説

自然に眠くなってから寢床につく，が適切。

5 章 主要疾患の疫学と予防対策

1. 解答 (2)

2. 解答 (4)

3. 解答 c

4. 解答 d

5. 解答 (3)

6. 解答 (2)

7. 解答 (2)

8. 解答 (3)

9. 解答 (3)

解説

a. マラリアは接触感染である。

c. 再び流行し始め，患者数が増加したものをいう。

d. 再興感染症の例としては，劇症型 A 群連鎖球菌感染症があげられる。

10. 解答 e

11. 解答 c

12. 解答 b

6 章 保健・医療・福祉の制度

1. 解答 d

解説

日本の医療保障は国民皆保険として国民のそれぞれが費用を拠出する社会保険で行われているのが特徴である。社会保障給付の内訳では年金 53%，医療 33%であり，総額約 78 兆円の国民所得の 20.53%にあたる。高齢者に対する給付額は総額の 68%に達している

2. 解答 b

3. 解答 d e

解説

日本の医師への診療報酬が点数性で出来高払いであるのが特徴である。診療等は現物支給である。正常分娩は保険対象外であり、国民健康保険の保険者は市町村である。外来でも入院でもすべての保険制度で自己負担がある。

4. 解答 c

5. 解答 c

6. 解答 a と b と e.

解説

地域医療計画は医療体制の確保を目的としたものであり、医療法に根拠をもち、予防や公衆衛生活動を対象とする地域保健法ではない。地域医療計画には医療圏や基準病床数が設定され、救急医療やへき地医療といった医療提供体制の確保が主眼となる。対して地域保健法は保健所や市町村保健センター等を規定している。子育て支援策であるエンゼルプランは主として児童福祉法が根拠法だが、母子保健対策も含まれているので誤りとまではいえない。都道府県健康増進計画の根拠法令は健康増進法である。

7. 解答 (5)

8. 解答 c

9. 解答 (1)

10. 解答 c

11. 解答 c

12. 解答 (2)

13. 解答 d

14. 解答 (4)

15. 解答 a

16. 解答 c

17. 解答 c

18. 解答 (1)

19. 解答 (5)

解説

a. 増加ではなく減少している。

b. 死亡者ではなく死傷者である。

20. 解答 (1)

解説

b. 聴力が低下するのは 4kHz 付近からである。

d. 休憩、水分と塩分の補給、健康状態の把握が必要である。

e. 減少ではなく、増加している。

21. 解答 (2)

解説

- a. 発病の予防は一次予防である。
- d. 実施頻度が高いほど、新体力テストの合計点数は高い。
- e. 身体活動・運動に対する積極的な意識、運動習慣者の割合、日常生活における歩数等においては健康日本21の目標を下回っている。

22. 解答（4）

解説

- a. インフルエンザ予防接種の施行義務は市町村長にある。
- b. う歯の被患率は高校生が最も高く、中学生が最小となっている。
- c. 定期健康診断は毎学年6月30日までに行なわなければならない。

23. 解答（4）

解説

- a. ローマ宣言は、FAOにて発表された。
- c. 先進国と発展途上国の区別なく、グローバルな視点から考えられねばならない。
- e. 青年海外協力隊の派遣は、JICAが行っている。